



「1面から」を最後に、フ
リートークの始まりです。
最初にマイクを握ったの
は『自称憲法大好きのため
のおじさん』です。感動的
なトークで、「日本が戦争
に巻き込ま
れることを
防いだのは
間違いなく
憲法9条で
す。」と。
リレート
ークに老若男
女が次々と

高松市平和を願う市民団体協議会 2026年度第1回全体会

「戦争はいやだ」。私も
あなたも声を合わせて
「今こそ、平和的対話に
よる外交を」と訴えよう

4月13日、高松市平和を
願う市民団体協議会の20
26年度第1回全体会が、
たかまつミライエにて行わ
れました。
高松ミライエには、高松
市が管理する『高松市平和
祈念館』があります。ここ
は、1995年に市民と高
松市の共同で使える場所と

して開館した「平和資料館」
が前身。同年には市と市民
が平和と命の尊さを伝える
平和団体として、「高松市
平和を願う市民団体協議会」
が発足しました。
毎年、憲法記念平和映画
祭、高松空襲展、戦争遺品
展8・
15戦争
体験を
語り継
ぐ原爆
展、日
米開戦



わが町は今

日本共産党善通寺市議 内田 信吾

善通寺は基地の町です。
基地の沿革は、明治31年に
旧陸軍第11師団（初代団長・
乃木希典）創設に伴い善通



「生涯の課題」に出会う
ことは貴重です。私にとっ
て「ハンセン病問題」はそ
のもの。これまでも全国の
ハンセン病療養所のほとん
どを訪ね歩いてきました。
国会に送っていたいただいてか
らも、党国会議員団ハンセ
ン病問題プロジェクトチ
ームに所属し、奄美和光園、
多磨全生園、大島青松園、
邑久光明園、長島愛生園を
訪ね、全国で入所者の高齢

寺に開設された
ことから始まり
ます。その後先
の大戦の終戦後
には、この広大な敷地を活
用し国立の農事試験場や国
立病院が2か所。また様々
な講習施設や大学、そして
化と減少が進む中、療養所
をどのような形で残してい
くかという永続化の課題に
ついて懇談を重ねてきまし
た。

全国ハンセン病療養所入
所者協議会も、法改定によ
る国の責任での療養環境の
確保と将来にわたる活用を
要望しています。

今回は邑久、長島の両園
を森脇久紀岡山県議、島津
幸枝瀬戸内市議らとともに
訪問。懇談で邑久光明園の
屋敷自治会長は「われわれ
がなくなると時に建造
物の一部ではなく園全体を
残すことで、どんな人権蹂
躪があったかがわかる。地
域が運営できるまで厚生労

勇気りんりんエッセイ

参議院議員 白川よう子

大陸からの引揚者のための
住宅等がこの兵舎を改造し
て再利用されてきました。
また昭和25年には、警察
予備隊が創設され善通寺訓
練所となり、昭和27年から
は保安隊に改変され後、平
和憲法に反する形で昭和29
勸省が管轄してほしい」と
訴え。
長島愛生園の中尾伸治自
治会長、山本典良園長は
「コロナ禍でハンセン病問
題の歴史が繰り返された」
と指摘し、「繰り返さない
ためには、残し、言い続け
なければならぬ」と語り
ました。
国の責任において入所者
への医療・看護を最後の一
人まで保障することを含め
超党派で要望に込めること
が必要です。将来構想が未
策定の療養所もあり、自治
会任せにはいけません。
長島愛生園にはかつて党
支部があり、先輩方の活動
に触れる事もできました。

生まれたら戦争だった⑦

元中学校教員 河田 敬一郎

番外編 戦争の残酷さ ズンケン玉砕

戦争末期、南太平洋最大の日本軍
基地ラバウルは10万の兵が駐留して
いましたが、周囲は全て連合軍に占
領され、孤立しており、自給自足で
耐えていました。このため農学校出
身の兵が重宝されたそうです。
ラバウルの南にズンケンがあり、
その近くの飛行場を攻撃する150人
ぐらいの部隊が編成されました。そ
の部隊の兵は、空爆を受けながら、
食料がないため、草や木の芽を食べ
ながら戦いましたが、失敗してラバ
ウルに引き返しました。司令部はラ
バウルに入ること許さず、兵隊1
人米5合を渡して、ズンケンに追
返しました。何回も攻撃に向かいま
したがつまみかず、撤退しました。
その時すでに「ズンケン部隊は全員

玉砕した」と大本
営に報告済みで
した。半数近く生き
残った兵がいるの
は師団司令部にと
ってはあってはな
らないことでした。
ラバウル司令部
から問罪使というものが派遣され、
将校2名と医官1名が責任を問われ、
自決させられました。

日本の軍隊の玉砕というのには、
敵軍に攻めていって戦死した人だけ
でなく、病気や飢えで、山中やジャ
ングルで野垂れ死した兵も多く含ま
れていたのです。戦争というものは
そういうものです。

私は戦争に行った本人から聞いた
ことなのでここに記して、「教え子
を再び戦争に送らない」、平和と民
主主義を守りぬく活動を今後もみな
さんと共に頑張りしたいと思います。



カダルカナルの日本兵

の日に戦争について考える
12・8集会等、各節目で平
和を考える企画をしていま
す。かし県議は、この「市
民団体」の事務局局長として
活動しています。
第1回全体会議では、特
別決議「イランをめぐる軍
事行動の即時停止と外交に

よる平和的解決を求める決
議」（案）が提案され、出
席者全員の賛成で採択され
ました。
採択された『特別決議』
は最後に「私たちは、米
国とイスラエル及びイランに
対して、対話と外交による
軍事行動の即時停止と事態

の平和的解決、さらには、
日本政府に対しては、唯一
の戦争被爆国として、また、
自らが戦争に巻き込まれな
いよう、先頭に立って即時
停戦と対話の再開に向けた
外交努力を強く求める」と
訴えています。



4月12日の自民党大会に
おいて陸上自衛隊の現役女
性自衛官が制服を着て「君
が代」を歌ったことは、
「政治的行為」を禁じる自
衛隊法61条に違反すること
が、明らかにになりました。
この14旅団の中に第14音楽
隊がありますが、この音楽
隊のホームページのお問
合わせコーナーには、演奏
依頼について県・市町村等
地方公共団体、全国的な連
盟（野球、ボイスカウト
等）、報道機関、教育機関
等から公共的事業を優先的
に行っています。原則とし
て個人、企業、政党、宗教
団体からの依頼、または政
治的活動、宗教的活動、思
想的活動及び企業等の営利
に關与する恐れのある場合
は依頼を受けることができ
ませんと明記しています。
自ら、演奏依頼に対する態
度を公表しておきながら自
民党の依頼には、答えるこ
いものでは、国民は納得で
きません。

高松空港の「特定利用空港」 指定に県は反対を

県民連絡会が申し入れ & 抗議集会

「郷土かがわを戦場にす
るな！」県民連絡会の共同代
表ら約30人が17日、香川県
庁を訪れ、国が8日に高松
空港（高松市）を「特定利
用空港」に追加指定したこ
とに反対するよう申し入れ
ました。その後、県庁前で
抗議集会を開きました。
国は今月8日、関係閣僚
会議で、高松、松山、高知
などの10空港を、【4面に】